

経営評価シート

1. 団体の基本的情報							
団体名	福岡県道路公社			設立年月日	昭和49年12月2日		
所在地	福岡市博多区吉塚本町13番50号 福岡県吉塚合同庁舎4階						
出資総額	22,865,000千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	15,475,250千円		福岡市	7,389,750千円	32.3%		
県出資割合	67.7%			千円	%		
				千円	%		
設立目的等	福岡県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。						
現状の主要事業の内容							
事業名	事業内容						
維持管理業務	福岡前原道路(L=14.2km)の運営管理 ※ 料金徴収期間満了に伴い、天神中央公園駐車場は平成28年4月3日に福岡市に、冷水道路(L=5.9km)は平成28年5月15日に福岡県にそれぞれ移管した。						
事業実績に関する情報	単位	H25	H26	H27	H28	H29	備考
冷水道路1日当たり交通量	台	8,742	8,617	8,449	8,334	-	H28年5月県に移管
福岡前原道路1日当たり交通量	台	19,295	20,814	22,281	23,285	24,117	前原料金所
〃	台	27,240	29,555	31,547	33,181	34,395	福岡西料金所
天神中央公園駐車場1日当たり利用台数	台	788	770	764	787	-	H28年4月福岡市に移管
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	理事長 豊永 寿文		区分	県OB		常勤	
常勤役員名			区分				
	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	
常勤役員数	2名	2名	2名	2名	1名	1名	
職員数	常勤(正規)	11名	10名	9名	9名	9名	9名
	うち プロパー	1名	-	-	-	-	-
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	3名	4名	6名	6名	6名	6名
	合計	14名	14名	15名	15名	15名	15名
増減の主な理由							
<p>○平成25年度：経費節減のため、平成24年度末で退職した非常勤嘱託職員の補充を見送ったことによる減</p> <p>○平成26年度：経費節減のため、プロパー職員退職後、嘱託職員で補充</p> <p>○平成27年度：冷水道路及び天神中央公園駐車場の料金徴収期間満了に伴う道路管理者への管理引継の準備等を行うため、嘱託職員(常勤)を採用したことによる増</p> <p>○平成28年度：部課制への移行(組織改編)による業務推進課職員の減(平成27年度は、H27.4.22から常勤(正規)職員数は10名で合計16名。)</p> <p>○平成29年度：管理施設の減に伴う組織見直しによる減(常勤役員を非常勤役員へ)</p> <p>○平成30年度：増減なし</p>							
3. 県関与の状況							
人的支援 (常勤役員再掲)	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	
県派遣	10名	9名	8名	9名	8名	8名	
県OB	2名	3名	3名	2名	2名	2名	
財政支出	H25	H26	H27	H28	H29	備考	
出資金	-	-	-	△261,750千円	-	県出資相当額の返戻	
貸付金	-	-	-	-	-		
補助・負担金	1,780,793千円	707,958千円	279,597千円	62,591千円	1,219千円		
委託料	-	29,050千円	398,800千円	99,550千円	-		
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(H29～H33)							
「安全・安心・快適な道路の提供」、「利用者の満足度向上」、「健全な公社経営」を基本方針とした、より健全で親しまれる道路の運営を目指す。							
別紙に記載							

※役員改選を理由とする年度当初の一時的な減は、反映していない。

5. 経営状況(道路公社)							
項目	単位	H25	H26	H27	H28	H29	
<b>【貸借対照表】</b>							
資産合計	千円	94,183,900	93,870,726	93,989,784	72,308,275	72,525,249	
うち金銭債権	千円	822,030	269,804	452,708	313,103	249,203	
うち棚卸資産(販売用不動産含む)	千円	1,022	760	611	341	494	
負債合計	千円	67,514,451	67,201,276	67,320,334	49,443,275	49,660,249	
うち借入金額	千円	28,626,465	25,716,765	23,132,094	21,612,466	20,030,836	
うち県からの借入金額	千円	-	-	-	-	-	
資本の部合計	千円	26,669,450	26,669,450	26,669,450	22,865,000	22,865,000	
県債務保証額又は損失補償額	千円	28,626,465	25,716,765	23,132,094	21,612,466	20,030,836	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
<b>【損益計算書】</b>							
業務収入①	千円	5,389,492	4,760,797	4,903,488	3,711,248	3,626,933	
業務損益②	千円	4,269,618	3,305,521	2,621,065	1,656,116	1,872,739	
償還準備金及び道路(駐車場)事業損失補てん引当金繰入前損益③	千円	4,193,655	3,209,371	2,537,525	1,704,557	1,806,334	
当期損益	千円	-	-	-	-	-	
<b>【収支計算書】</b>							
総収入 A	千円	11,597,963	10,744,786	10,510,479	10,194,166	9,235,156	
うち県財政支出額	千円	1,780,793	737,008	678,397	△99,609	1,219	
内訳:出資金	千円	-	-	-	△261,750	-	
内訳:補助負担金	千円	1,780,793	707,958	279,597	62,591	1,219	
内訳:委託料	千円	-	29,050	398,800	99,550	-	
内訳:貸付金	千円	-	-	-	-	-	
総支出 B	千円	11,589,331	10,465,779	10,064,567	9,635,634	9,318,536	
うち人件費総額	千円	152,815	122,043	112,815	104,897	114,525	
当期収支 A-B	千円	8,632	279,007	445,911	558,533	△ 83,380	
<b>【財務指標】</b>							
自己資本比率	%	28.3	28.4	28.4	31.6	31.5	
県財政支出率	%	15.4	6.9	6.5	1.6	0.0	
人件費率	%	2.8	2.6	2.3	2.8	3.2	
繰入前損益率	%	77.8	67.4	51.7	45.9	49.8	
<b>【団体毎の経営評価指標】</b>							
料金収入実績							
冷水道路	千円	694,452	717,694	693,659	74,048	-	
福岡前原道路	千円	2,681,380	3,077,979	3,302,079	3,456,058	3,590,782	
天神中央公園駐車場	千円	215,406	210,105	206,885	1,028	-	
収支率(費用/収入)							
冷水道路	%	19.6	26.7	80.5	215.6	-	
福岡前原道路	%	33.1	49.2	47.0	53.5	61.2	
天神中央公園駐車場	%	40.2	41.8	72.4	28.5	-	
<b>【常勤役職員の報酬・給与に関する状況(平成29年度)】</b>							
常勤役員平均年齢	60.0歳	常勤役員平均年収	7,168千円	常勤職員平均年齢	49.1歳	常勤職員平均年収	7,440千円
<b>【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】</b>							
<p>資産合計は、ETC増設工事費、前原料金所管理棟及び倉庫棟新築工事費を建設仮勘定に計上したことにより増加した。</p> <p>平成28年度途中で冷水道路及び天神中央公園駐車場の料金徴収期間が満了し、本来道路等管理者に移管されたことに伴い、冷水道路に係る県負担金等、清算事業費や清算事業に係る引当金等がなくなったことにより、業務収入、総収入、総支出の各項目が減少し、人件費率及び繰入前損益率が上昇した。</p> <p>収支率は、福岡前原道路において前原料金所改修工事、交通管制設備更新工事等を実施し、費用が大幅に増加したため、7.7%上昇した。</p>							

## 6. 団体(経営責任者)の自己点検評価

料金収入実績については、平成28年度途中に冷水道路及び天神中央公園駐車場の料金徴収期間が満了し、本来道路等管理者に移管されたが、福岡前原道路の交通量の増加に伴い約1億3千4百万円増加し、損失補てん引当金及び償還準備金繰入額は約1億円増加した。

道路利用者のために道の駅等に道路マップを配布する等の利用促進活動、更に料金収受員の接遇対応向上のため、委託会社の研修を奨励するなど利用者サービスの向上に努めた結果、利用台数及び業務収入の増加を図ることができた。

また、アセットマネジメント手法を取り入れた維持管理による経費削減、資金調達における入札制度の導入による支払利息の削減などのコスト削減に努めた結果、目標項目の達成を図ることができた。

今後とも、安全・安心を第一に配慮した路線運営に努め、営業活動等による料金収入増を図るとともに、事務事業の改善を図るなど、より一層の経費節減に努め、経営の安定化に向けた取組みを進めることとしたい。

## 7. 外部専門家の意見

・現在運営管理している福岡前原道路では、現在の中期経営計画期間における交通量及び料金収入がともに継続して前年度を上回っている。今後も状況を見極めながら適時対応することが求められるとともに、引き続き、経費の節減等に努め、経営の安定化に取り組むことが求められる。

## 8. 経営評価委員会による経営評価結果

福岡前原道路の交通量及び料金収入は目標をやや下回ったものの、ともに前年度を上回っている。

今後とも、利用者の安全・安心の確保と共に利便性の向上に努めることで利用促進を図り、料金収入を確保しつつ、引き続き、経費の節減に取り組む公社運営の安定化を図る必要がある。

※県債務保証額には利息分を含まない。

4-② 中期経営計画における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単 位	上段:計画 下段:実績						改善目標区分の達成に向けた2017年度(H29)の取組状況	
				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2021(H33)		
事業活動・住民サービス  (計画性等)	① 福岡前原道路の利用促進に努め、業務収益の確保を図る。	福岡前原道路の1日当たりの平均交通量	台/日		60,419					69,297	道路の利用促進に向け、道の駅や観光地のホテル、観光協会等へ道路マップを配布し、利用台数の増加に努めた。  料金収受員の接客対応向上のため、委託会社の研修を奨励するなど、利用者サービスの向上に努めた。
		福岡前原道路の業務収益(年間収入)	千円/年	56,466	58,512					4,244,218	
財務会計  (経済性等)	① 借入金の調達に際し、効率的な資金調達に努め、将来の金利負担を軽減する。	資金調達方法	-		競争入札による調達金利低減					競争入札による調達金利低減	県内、県外を含め10行の金融機関から借入利率を徴することにより競争性を高め、低利率で資金を調達することに努めた。  収入増及び経費節減を図り、長期借入金の返済による残高減に努めた。
		長期借入金残高(福岡前原道路)	百万円		20,681					13,089	
	② 定期的な維持管理業務(除草、路面清掃等)を引き続き効率的に実施する。	経常的維持管理業務費	百万円		28					28	通年除草を行っている範囲の一部が他機関(国)の工事範囲となり、除草面積が縮小したため、道路除草費が減少した。 その他の路面清掃等の維持管理業務経費については、ほぼ前年度並みとなっている。
				29	24						
	③ 財務諸表	自己資本比率	%		31.8					31.8	人件費率は上昇しているがこれは、冷水道路及び天神中央公園駐車場の料金徴収期間満了に伴う移管により、冷水道路に係る県負担金等収入がゼロとなったことによる。  冷水道路に係る県負担金の収入が減少したが、それ以外は前年とほぼ同額である。  収入増及び経費節減を図り、長期借入金の返済による残高減に努めた。
				31.6	31.5						
		人件費率	%		3.0					2.7	
				2.8	3.2						
		県財政支出額	千円		1,000					833	
				162,141	1,219						
		県債務保証額	百万円		20,681					13,089	
				21,612	20,031						
内部管理  (健全性等)	① 労働契約法の改正に伴う無期労働契約の導入に際して、関係規程等の整備を遺漏なく進める。	労働契約法の改正に伴う規程等の整備	-		検討					実施	無期労働契約の導入に伴い、関係規程の整備を行った。(任用期間の一部改正等)
				-	実施						
	② 嘱託職員が職務遂行を通じて発揮した能力や挙げた業績を的確に把握した上で、職員の士気の高揚と能力の開発を図る。	人事評価制度の導入	-		検討					実施	年度途中で総務部長による個人面談を行ったが、マニュアルの作成等、具体的な導入までには至っていない。
				-	検討						
	③ 適正な職員数の配置を行い、人件費の縮減に努める。	職員数	人		15					13	業務量に応じた適切な人員配置を行った。
				15	15						

達成状況(まとめ)

目標年次における改善目標の達成を目指し、経営改善等を進めた結果、概ね目標を達成したところである。  
今後も利用者サービスの向上と営業活動の強化による料金収入の確保に努めるとともに、経費節減を図り、経営安定化に向けた取組みを進めていく。